

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 2 月 8 日(2023.2.8)

【公開番号】特開 2022-105706(P2022-105706A)

【公開日】令和 4 年 7 月 14 日(2022.7.14)

【年通号数】公開公報(特許)2022-128

【出願番号】特願 2022-85863(P2022-85863)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 1 月 31 日(2023.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者が操作する操作手段と、その操作手段の操作に伴って、第 1 位置と、その第 1 位置とは異なる第 2 位置との間を動作可能とされる動作手段と、その動作手段を前記第 1 位置へ復帰させる復帰手段と、遊技者に対して前記操作手段を所定態様で操作させる期間において所定の報知をする報知手段と、を備える遊技機において、
前記操作手段を介して遊技者に反力を与えることが可能な反力発生手段を備え、
前記報知手段により前記所定の報知がされる期間外で前記操作手段が前記所定態様で操作される場合において第 1 状態から前記動作手段の動作態様が変化される第 2 状態へと前記動作手段の制御状態が切り替えられ、該状態の切り替えに伴って前記動作手段の動作態様が変化され、該変化に基づく所定の判断を主制御手段によって実行可能に構成され、
前記反力発生手段が与える反力は、前記第 1 状態でも前記第 2 状態でも発生可能に構成され、前記操作手段の操作量に対応して変化され、
前記遊技機は、動作された前記動作手段が当接することで所定の変位手段が変位可能に構成され、
前記操作手段が操作された場合に前記動作手段が動作しない所定状態を構成可能であることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機において、操作手段を備える遊技機がある（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

50

【特許文献 1】特開 2 0 1 2 - 1 1 5 5 8 6 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、操作手段を好適に操作させる観点で改善の余地があるという問題点があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、操作手段を好適に操作させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技者が操作する操作手段と、その操作手段の操作に伴って、第 1 位置と、その第 1 位置とは異なる第 2 位置との間を動作可能とされる動作手段と、その動作手段を前記第 1 位置へ復帰させる復帰手段と、遊技者に対して前記操作手段を所定態様で操作させる期間において所定の報知をする報知手段と、を備える遊技機であって、前記操作手段を介して遊技者に反力を与えることが可能な反力発生手段を備え、前記報知手段により前記所定の報知がされる期間外で前記操作手段が前記所定態様で操作される場合において第 1 状態から前記動作手段の動作態様が変化される第 2 状態へと前記動作手段の制御状態が切り替えられ、該状態の切り替えに伴って前記動作手段の動作態様が変化され、該変化に基づく所定の判断を主制御手段によって実行可能に構成され、前記反力発生手段が与える反力は、前記第 1 状態でも前記第 2 状態でも発生可能に構成され、前記操作手段の操作量に対応して変化され、前記遊技機は、動作された前記動作手段が当接することで所定の変位手段が変位可能に構成され、前記操作手段が操作された場合に前記動作手段が動作しない所定状態を構成可能である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

請求項 1 記載の遊技機によれば、操作手段を好適に操作させることができる。

10

20

30

40

50